にこにこだより NO. 3







令和5年6月29日 垂井町立岩手こども園

園庭でツマグロヒョウモンの幼虫やダンゴムシ、バッタなどの虫を見つけた子どもたち。先 生の手に乗っている虫に一本指を近づけてみたり、自分の手の平に乗せて触ってみたりしてい ます。ツマグロヒョウモンの幼虫はビオラの葉をたくさん食べ、さなぎから羽化し、蝶になり ました。蝶になった姿を見て、「ちょうちょうだ!」と驚きながら見つめていた子どもたちです。

じゃがいもを収穫したよ!



じゃがいもの収穫をしました。茎を引っ張ると土の中から出てきたじゃがいもに「あっ た!」「出てきた~」と大喜びの子どもたち。手で土を掘っていくと土の中からも顔を出し、 まるで宝探しのようで、『どこにあるかな?』と必死になって探していました。





収穫後は「まだまだ、じゃがいもがある!」「これが、一番大きいなぁ」 と、じゃがいもを並べたり、大きさ比べをしたりしていました。





蛍まつりのポスターを見ていた子どもたち。岩手川に蛍が住んでいることを話し、蛍に会いに出掛けました。「蛍さん、寝ているからいないね」「しー(静かに)だね」と蛍が夜、元気に飛べるようにと優しい言葉も聞こえてきました。図鑑や絵を見た子どもたちは、「おしりの所が赤いんだよ」「ここ(おしり)がピカピカするんだって」と興味津々でした。

水遊び、楽しいなぁ!



砂場にできた大きな水たまり。子どもたちは惹きつけられるように水の中へ。水の中を歩くことがおもしろくて、笑い声が響いています。大きいクラスの子どもたちは、「ここも掘ろう!」と道を掘り進めていました。またドロドロになった土の感触を楽しむように、手の平や足、時には腹ばいになって遊んでいます。今、樋やペットボトルで作った手作り玩具も登場しています。これからの水遊びも子どもたちと思いきり楽しんでいきます。